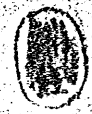


二月二十日

8400  
18



陸

陸軍省  
第二六五號

關參滿第三八八號

北鐵蘇聯人釋放折衝ニ關スル書類送附ノ件

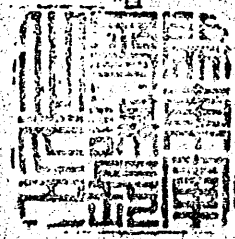
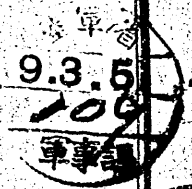
昭和九年二月廿八日

關東軍參謀長 小磯

國 昭

陸軍次官 柳川平助 殿

二月廿四日外交部北滿特派員發外交部總長宛首題ノ件ニ關スル電報寫別紙  
ノ通り送附ス



陸  
軍

二月二十四日外交部北滿特派員發外交部總長宛電報寫

二月二十三日發貴電ニ關シ

本二十四日午後五時スラヴツキーヲ當署ニ招致シ小松原機關長列席ノ上  
本官ヨリ「ス」ニ對シ

「日本側ノ斡旋即チユレネフ大使廣田外相間並ニ貴總領事小松原機關長  
間ニ於ケル話合ヲ考慮シ滿蘇ノ善隣關係強化ヲ希望スル滿洲國政府ハ愈  
拘引中ノ北鐵職員六名ヲ釋放スルコトトナリタルカ之カ細目ニ關シテハ  
今下村ヲシテ代理折衝サシムヘシ」ト述ヘタルカ

下村ト「ス」ノ折衝左ノ通り

(一)下村 右六名ハ釋放サルルモ原職ニ復歸セス出來得ル限り最短期間例  
ヘハ一週間内ニ本國ニ召還歸國セシムルコトニ關シテハ日本側  
トノ話合ニヨリ既ニ御同意ノ由ナルカ無論御異存無キコトと思  
フカ如何

「ス」

オフィシアリニハ言明シ難キモ個人トシテ異存ナシ一種ノ紳士  
的了解ナリ歸國期日ヲ確言シ難キモ御信用アツテ然ルヘシ

(二) 下村 二月二十二日付ニレネフ大使廣田外相間妥結文ハ勿論御承知ノ

コトト思フカ(讀ミ上ク)滿側モ之ニ同意ス

「ス」 承知ス

(三) 下村 右臨時處長代理(妥結文)ノ任命ヲ六名釋放後即時行フコトニ

滿側ハ同意ナルカ貴總領事ト日本側斡旋者等間トノ從來ノ話合  
ニヨレハ次ノ諸點ニ就キ貴總領事ハ既ニ同意<sup>ヲ表</sup>サレタル趣ナルカ  
爲念今一應滿側トシテ御尋ネシ度シ

A 目下管理局内ニ於テ對立中ノ滿蘇臨時代理ハ双方共ニ現地位ヲ  
退カシムル事

B (此ニ可ナルモ爲念ト冒頭シ)新任サルヘキ臨時處長代理ハ所  
屬部下タル滿人ナリ白系露人ナリヲ罷免乃至イシメル等爲ササ  
ル事

C 九月二十四日以降所謂命令反抗ノカトニ依リ蘇側ニ依リ罷免サ  
レタル滿側従業員ハ即時復職シ同議減俸乃至給料支拂ヒ停止ヲ  
ウケタル者モ原狀復歸ノ事(引例ス)

「ヌ」

六名釋放後即時解職サレ同時ニ後任臨時代理ノ任命ヲ見ルコト  
ト致度クAハ同意Bモ同意ナルモオ互ニ舊事ヲ忘レ例ヘハ滿側  
部下カ蘇聯上長ノ正當ナル命令ニ服從セサルカ如キコトナキ様  
滿洲國側ニ於テモ保證サレタシ

Cニ關シテハ

原則トシテ贊成ナルモ滿洲國側カ一方的ニ増俸セルモノハ原給  
ニ復スヘク又エダノーヴイツノミハブヘド驛ニ復職セシメサ  
ル様主張ス更ニ同様命令反抗ノカトニ因リ滿側路警ニ依リ拘引  
サレタル蘇聯側従業員ノ釋放復職ヲ要求ス  
以上蘇側ノ要求ハ滿側モ原則トシテ承知ス然シテ一ルニ關シ  
テハ北鐵内部ニ於テ折衝スルコトトシタシ

下村

「ヌ」

同意

(四) 下村

「ヌ」

參考迄ニ新任サルヘキ臨時處長代理ノ姓名ヲ承リ度シ  
財務處ワラデミールフ、機務處イワツ、組立工場ベロユール  
ツナルカ何レモ滿側トノ關係ヲ考慮シテ詮衡サレタルモノナリ

(確メタルトコロ右ハ事實ニ近シ)

以上ニ依リ双方ノ話合成立セルヲ以テ六名ヲ本日午後七時釋放スルコト並ニ後任者任命其他一般原情恢復ニ關スル處置ハ午后八時ヨリ北鐵滿蘇幹部間ニ於テ行ヒ互讓ノ精神ニ基キ今夜中ニハ圓滿完了セシムル事ヲ取極メ最後ニ本官ヨリ「滿蘇關係ハ之ニ依リ打開好轉スルモノト信シ且希望スルモノナルカ六名釋放ニ關シテノ互ニ對手國人心ヲ刺戟スルカ如キ言動ハ慎シミタシ」ト述ヘ終リニ「ス」ノ努力ニ對シテ敬意ヲ表シ併セテ斡旋者トシテノ機關長ニ對シ謝辭ヲ述ヘタリ(午後十時稿)

二月二十五日外交部北滿特派員發外交部總長宛電報

二月二十四日往電ニ關シ

昨日八時ヨリ開始サレタル北鐵內部處置ハ次ノ諸點ニ付多少ノ波瀾ヲ生シ其都度蘇聯領事下村間ノ電話折衝トナリタルモ本日午前一時結局圓滿解決セリ

(一) 後任臨時代理任命ナル文句(妥協文參照)使用ノ先例無キコト(滿側主張シ慣例ニ從フコトニ決定)

(二) 管理局財務處長代理ニ轉任セル理事會財務科長蘇聯人ノ空席補充問題(滿側次席者、蘇聯側蘇聯人ヲ主張シ一時混亂セルモ保留ニ決定)

(三) 六名ノ退職慰勞金決定ノタメ健康審查委員會ノ構成ニ關シテ(滿側合法的ナラスト主張セルモ結局今回限りノ特例トシテ可決)

(四) 六名退職慰勞金支拂問題(蘇側ハ現金即拂ヲ主張シ滿側ハ現行規程ニヨリ分金支拂ヲ頑守シ最後ノ火花ヲ散セルモ結局蘇側ニ讓歩ス)

尙北鐵內部ノ空氣ハ滿蘇共ニ好轉シ今ヤ關心ハ東京會議ニ集中サルルニ至レリ

二月二十四日外交部北滿特派員發外交部總長宛電報寫

二月二十三日發貴電ニ關シ

本二十四日午後五時スラヴツキーヲ當署ニ招致シ小松原機關長列席ノ上  
本官ヨリ「ス」ニ對シ

「日本側ノ幹旋即チユレネフ大使廣田外相間並ニ貴總領事小松原機關長  
間ニ於ケル話合ヲ考慮シ滿蘇ノ善隣關係強化ヲ希望スル滿洲國政府ハ愈  
拘引中ノ北鐵職員六名ヲ釋放スルコトトナリタルカ之カ細目ニ關シテハ  
今下村ヲシテ代理折衝サシムヘシ」ト述ヘタルカ

下村ト「ス」ノ折衝左ノ通り

(一)下村 右六名ハ釋放サルルモ原職ニ復歸セス出來得ル限り最短期間例  
ヘハ一週間内ニ本國ニ召還歸國セシムルコトニ關シテハ日本側  
トノ話合ニヨリ既ニ御同意ノ由ナルカ無論御異存無キコトト思  
フカ如何

「ス」

オフィシアリニハ言明シ難キモ個人トシテ異存ナシ一種ノ紳士  
的的了解ナリ歸國期日ヲ確言シ難キモ御信用アツテ然ルヘシ

(二)下村 二月二十二日付ニレネフ大使廣田外相間妥結文ハ勿論御承知ノ

コトト思フカ(讀ミ上ク)滿側モ之ニ同意ス

「ス」 承知ス

(三)下村 右臨時處長代理(妥結文)ノ任命ヲ六名釋放後即時行フコトニ

滿側ハ同意ナルカ貴總領事ト日本側斡旋者等間トノ從來ノ話合  
ニヨレハ次ノ諸點ニ就キ貴總領事ハ既ニ同意<sup>ヲ表</sup>サレタル趣ナルカ  
爲念今一應滿側トシテ御尋ネシ度シ

A 目下管理局内ニ於テ對立中ノ滿蘇臨時代理ハ双方共ニ現地位ヲ  
退カシムル事

B (此ニ可ナルモ爲念ト冒頭シ)新任サルヘキ臨時處長代理ハ所  
屬部下タル滿人ナリ白系露人ナリヲ罷免乃至イシメル等爲ササ  
ル事

C 九月二十四日以降所謂命令反抗ノカトニ依リ蘇側ニ依リ罷免サ  
レタル滿側従業員ハ即時復職シ同漾減俸乃至給料支拂ヒ停止ヲ  
ウケタル者モ原狀復歸ノ事(引例ス)

「ス」

六名釋放後即時解職サレ同時ニ後任臨時代理ノ任命ヲ見ルコトト致度クAハ同意Bモ同意ナルモオ互ニ舊事ヲ忘レ例ヘハ滿側部下カ蘇聯上長ノ正當ナル命令ニ服從セサルカ如キコトナキ様滿洲國側ニ於テモ保證サレタシ

Cニ關シテハ

原則トシテ贊成ナルモ滿洲國側カ一方的ニ増俸セルモノハ原給ニ復スヘク又エデノ一ツイツサノミハブヘド驛ニ復職セシメサル様主張ス更ニ同様命令反抗ノカトニ因リ滿側路警ニ依リ拘引サレタル蘇聯側従業員ノ釋放復職ヲ要求ス

下村

以上蘇側ノ要求ハ滿側モ原則トシテ承知ス然シテデールニ關シテハ北鐵内部ニ於テ折衝スルコトトシタシ

「ス」

同意

(四) 下村

「ス」

參考迄ニ新任サルヘキ臨時處長代理ノ姓名ヲ承リ度シ財務處ワラデミ一四フ、機務處イワノフ、組立工場ペロユ一ネヲナルカ何レモ滿側トノ關係ヲ考慮シテ詮衡サレタルモノナリ

(確メタルトコロ右ハ事實ニ近シ)

以上ニ依リ双方ノ話合成立セルヲ以テ六名ヲ本日午後七時釋放スルコト並ニ後任者任命其他一般原情恢復ニ關スル處置ハ午後八時ヨリ北鐵滿蘇幹部間ニ於テ行ヒ互讓ノ精神ニ基キ今夜中ニハ圓滿完了セシムル事ヲ取極メ最後ニ本官ヨリ「滿蘇關係ハ之ニ依リ打開好轉スルモノト信シ且希望スルモノナルカ六名釋放ニ關シテノ互ニ對手國人心ヲ刺戟スルカ如キ言動ハ慎シミタシ」ト述ヘ終リニ「ス」ノ努力ニ對シテ敬意ヲ表シ併セテ斡旋者トシテノ機關長ニ對シ謝辭ヲ述ヘタリ(午後十時稿)

二月二十五日外交部北滿特派員發外交部總長宛電報

二月二十四日往電ニ關シ

昨日八時ヨリ開始サレタル北鐵內部處置ハ次ノ諸點ニ付多少ノ波瀾ヲ生シ其都度蘇聯領事下村間ノ電話折衝トナリタルモ本日午前一時結局圓滿解決セリ

(一) 後任臨時代理任命ナル文句(妥協文參照)使用ノ先例無キコト(滿側主張シ慣例ニ從フコトニ決定)

(二) 管理局財務處長代理ニ轉任セル理事會財務科長蘇聯人ノ空席補充問題(滿側次席者、蘇聯側蘇聯人ヲ主張シ一時混亂セルモ保留ニ決定)

(三) 六名ノ退職慰勞金決定ノタメ健康審査委員會ノ構成ニ關シテ(滿側合法的ナラスト主張セルモ結局今回限りノ特例トシテ可決)

(四) 六名退職慰勞金支拂問題(蘇側ハ現金即拂ヲ主張シ滿側ハ現行規程ニヨリ分金支拂ヲ頑守シ最後ノ火花ヲ散セルモ結局蘇側ニ讓歩ス)

尙北鐵內部ノ空氣ハ滿蘇共ニ好轉シ今ヤ關心ハ東京會議ニ集中サルルニ至レリ